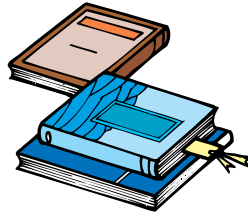


ほんの森

図書館 ☎ 84-3311



図書館休館日
11月7日(火)・毎週月曜日

冬の特別おはなし会

楽しい人形劇や絵本の読み聞かせを行います。

●日 時 12月9日(土)
午後2時～3時
●場 所 2階ハイビジョンホール
●定 員 80名
●申 込 11月11日(土)
から開始します。
図書館カウンター
またはお電話でど
うぞ。

子ども映画会

『忍たま乱太郎』

●日 時 11月19日(日)
午前10時・午後2時
●上映時間 50分
●場 所 2階ハイビジョンホール
●定 員 各回120名
●入 場 整理券(無料)を11月4日
(土)から配布します。ご希
望の方は図書館カウンター
までお越しください。

金曜映画会

『新 影の軍団4』

(千葉真一主演)

●日 時 11月24日(金)
午後2時から
●場 所 2階ハイビジョン
ホール
●定 員 先着100名
※整理券は不要です

文 芸

◆俳句

天も地も匂けぶらす金木犀 浅野 茂子

釣り人の竿弧を描きカンナ炎ゆ 池田 逸子

上総野の大地の中に大根時ゆ 伊藤 敬子

故郷を恋う満月や異国の地 伊藤 定男

水澄みて鮭もどり来し栗山川 今関満喜子

紅葉狩行つたつものテレビ旅 魚地 照子

月ゆらり昇るや花の別世界 江森 悦子

満月や厩舎の牛はおとなしく 大木 素風

星月夜空港しづかに眠り入る 川島 孝夫

御供物や無月の空を淋しむ児 川島 通則

水澄みし池面に輪を画く一葉 桑名 大行

涼新た仁王の磔を上りけり 向後 寛

月皓皓浄土めきたる身のめぐり 越川 福子

来し方や壇林の鐘秋を呼ぶ 佐瀬 輝夫

泣く翁残して姫の住まふ月 椎名まり子

ざんやんま湖面たたいて波紋 描き 宋倉 道子

野分あと水音しきりそこかしこ 玉虫 栗扇

水澄めるいで湯の里の瀬音かな 福田 幸子

鍬洗う水早々と澄んでをり 藤代 ゆう

鴉日和嬰子笑まふ乳母車 布施 和代

孫生ると手紙添えたるぶどう 丸山 照美

赤城嶺のわずかに見ゆる柿す 村上 淳

漆盆薄曇りして柿の冷え 山口 一秋

金木犀元勳生誕武家屋敷 渡部 和秋

◆短歌

家並みの軒下照らす名月は しじまの中に冴えてひかりぬ 越川 義則

遠来の客喜べず迷惑を又もちこむ やと独りかまへて 越川 福子

さまざまの思いで残して師の君は 静かに歩む黄泉の旅路 土屋 好

散歩する道をのびして亡き夫の み墓辺の花に水をやりたり 池田 春江

みんなみんはたと鳴き止み振り向くに 物売りらしき女の訪ひ来ぬ 吉岡 信子

かなかなと蜩の鳴く声しげく いっしか里は秋となりあつ 永藤 滋

故宮近き北海公園の池に映え 異国の夕陽が没りてゆくなり 西山満里子

刈り終へし畦に草食む山羊二匹 今朝は引網の伸ばされるたり 押尾 輝子

カタカナの溢る今の世ひらがなの 短歌の文語に癒されるたり 八角 三枝

孫三人帰りて夫と食む夕餉 卵ふりかけ卓に残れり 芹川 初子

川土手の咲きの盛りの彼岸花に 秋の長雨けふも降りあつ 佐瀬 初音

嫁ぐ日の近き娘と聞くコンサート あまりに早く時の行くなり 田崎 尚美

草むらのそこにここに鳴く虫の声 独りたたずみ聞きてるにけり 平山 芳子

皮靴に閉ぢ込められし足の指 帰宅と共に羽を伸ばせり 島田ますみ

細き月今し丘より昇り初め 刈り入れ済みし田の面照らせり 長谷川正子

金の針ふむ秋日降り注ぎ 刺さるるうなじひりひり痛し 斎藤つね子